

## 会 議 録

会 議 名	第 76 回 八王子市ごみゼロ社会推進協議会				
日 時	令和8年(2026 年) 2月9日(月)	開始	午後2時00分	終了	午後3時40分
場 所	八王子市役所本庁舎 801 会議室				
出席者	委 員	石井委員、田代委員、守屋委員、住村委員、田頭委員、平澤委員、矢島委員、佐怒賀委員、伊藤奈美江委員、伊藤洋史委員、増淵委員、黒木委員 以上 12 名			
	事務局等	岡田資源循環担当部長、森田資源循環課長、河内廃棄物対策課長、青木ごみ総合相談センター所長、林戸吹清掃事業所長、枝根館清掃事業所長、熊澤資源循環施設管理課長  【資源循環課】稲田課長補佐、黒田課長補佐、白鳥主査、岩崎主査、小岩井主査、村田(海)主任、日野主任、櫛島主任、村田(尚)主事、大神田主事、山木主事、木下アドバイザー			
欠 席 者	島田委員、田野倉委員 以上2名				
議 題 等	1 議題 (1) リユース実証事業(ジモティースポット八王子)の終了及び今後のリユース体制の構築について(報告) (2) 「ごみカレンダーアプリ」運用状況について 2 その他				
公開・非公開の別	公開				
傍 聴 人	1人				
配布資料	会議次第 第 76 回ごみゼロ社会推進協議会 席次表 八王子市ごみゼロ社会推進協議会 委員名簿 (資料 1)リユース実証事業(ジモティースポット八王子)の終了及び今後のリユース体制の構築について(報告) (資料 2)「ごみカレンダーアプリ」運用状況について				

## 1 議題

(1)リユース実証事業(ジモティースポット八王子)の終了及び今後のリユース体制の構築について(報告)

### 【意見、質疑応答等】

委員:同世代の方々と、家電を買い替えた際に、古い家電をどうしているかと話題になった。市で実施しているリユース実証事業のことを紹介したら、大半の人が知らなかったし、紹介しても、手間がかかりそう等といった抵抗感があるようだった。どうしたらもっと認知度が高まるか。ホームページで周知する等の方法では、わざわざ調べる人にしかわからないと思うので、例えば小学校低学年にチラシを配れば、家に持ち帰って必ず親に渡すので、そこで周知できるのではないか。もう少し間口を広げて、色々な広報活動に力を入れてもらえるといい。

委員:町会の回覧板でも周知してもらえたら良い。

市:市でも周知方法は検討課題と認識している。色々な方法を試行錯誤しながら、粗大ごみになってしまうものを、その手前で止められるよう、広報にも力を入れていきたい。

委員:このジモティースポット八王子の近くに住んでいるが、毎日開いていないのが残念だった。今後新しい企業との連携を考えているとのことだが、駅の近くや、交通の便の良い所等、場所が一番問題になってくるのかなと思う。

市:ジモティースポットは終了となるが、民間企業のリユース事業も急速に発展しているので、今後は、さらなる市民サービスの向上を図れるよう、幅広い事業者サービスを紹介できるようにしたい。

委員:4月からに向けて、もう何社か具体的な目途はついているのか。

市:手を挙げてくれている事業者は何社かある。

委員:市の事業として継続していくことはないのか。

市:4月以降は、民間のリユース事業者を周知、利用を促していくようシフトする。

委員:粗大ごみの相談や排出の予約を市にする際に、こういったリユース事業もありますよ、といった案内があっても良いのではないか。

市:粗大ごみに関する問合せは、現在コールセンターに委託しているが、リユース事業を促す案内があっても良いと思う一方で、手続きは手短にお願いしたいという市民からの声も多く、難しいところではある。個別の判断になるのかもしれないが、いずれにせよ、あらゆる機会を通じて、リユースという選択肢を周知していきたい。

委員:古本市や陶器市を良く利用している。こうした情報も集約して市民に情報提供してほしい。

市:このリユース事業を始めたことで、民間事業者に買い取ってもらえない物の中にもリユースのニーズがあると分かり始めた。現在では、民間事業者の幅が広がってきたので、取り組み方も見直す時期に来ている。決してリユース事業を後退させるつもりはない。

委員:連携する事業者は1社に限定するのか。市域が広いので、複数の事業者と連携するのか。

市:複数社から申出があり、やり方も各社異なるので、様々な事業者をご紹介したい。

委員:以前は粗大ごみを出すときに貼るシールに、再利用して良いかを確認するチェック欄があったと思うが、今はもう無いのか。

市:シールは毎年作り変えているが、チェック欄は残っている。リユースのみならず、商品のリユースを希望しない市民に対しても、何らかの原料としてリサイクルする等、有効に再利用

できるよう、皆様にご理解いただく工夫をしている。

委員：民間にシフトする方針と逆行してしまうかもしれないが、市民としては市が一元管理するようなやり方のほうが分かりやすい気がする。市が収集して収益化するような仕組みが作れないものか。

市：市で実証実験を行っていた際には、保管スペースの問題や、粗大ごみを多く出す人とそうでない人との公平性等、市がどこまで事業として取り組むのかという点で課題が残った。総合的に検討した上で、民間ベースで事業を実施し、市がリユースの周知徹底により機運醸成するということを目指している。

委員：複数事業者と連携して、リユースを進めていくということだが、主体は市民側にあるのかなと感じる。窓口と選択肢は増えるかもしれないが、市民の煩雑さは変わらず、結果として利用する絶対数は増えない、利用率も上がらないといったことが懸念される。どういったイメージで連携を進めていくのか。

市：これまで、最終的に廃棄物として市が処理していた絶対数を減らすためにも、市民に、ごみとして出さない、リユースの意識醸成のために実証事業をやってきた。その中でも、すぐにも不要品を家から出したい方もいれば、自身で持ち込めないからいつでも良いから回収してほしいといった様々なニーズがあることが分かった。

現時点で具体的に説明できないが、幅広く対応できるよう取り組みたいということと、少しでもごみにしないという意識を市民に持ってもらいたいというのが、一番の願いである。

委員：ジモティースポットはなくなるということだが、新しい事業者が、また市内のどこかに場所を設けるのかはわからないが、オンライン上で幅広くリユースしたい人が募れるような方法が良いのでは。

委員：オンライン上のプラットフォームは市のホームページの中に作るのか。

市：市のホームページから民間のページに飛ぶことになる。

委員：煩雑そうに感じる。年齢の壁がありそう。オンラインを利用する際には分かりやすいフローチャートのようなものを作ったほうが良い。

市：事業者と連携して、分かりやすいホームページを作りたい。

委員：3月は卒業シーズンで、粗大ごみが増える時期でもあると思う。小中学校の時期から教育として、ごみの出し方等、教える機会はないのか。

市：大学と連携して、ごみの出し方について周知を図っている。また、新入生のガイダンスにも呼ばれて、ごみの処分について説明させてもらう機会が増えてきた。少しずつでも学生にアピールしていきたい。

## (2)「ごみカレンダーアプリ」運用状況について

### 【意見、質疑応答等】

委員：この協議会の委員として活動してきて、最近特に感じているのが、ごみの分別について、かなり個人差があるなどということ。地元町会のお祭り等に参加して、様々な年代の方と関わっていると、それぞれ分別しようという意識は高いものの、扱いに差がある。分別のレベルをどう意識づけていくかが課題と感じている。このアプリのことを知り、自分でも使ってみて、とても便利だと思うが、このアプリのことを皆知らない。もう一つ、せっかく良いアプリ

なのに、文字画面だけなのもったいない。技術的に問題がなければ、短い動画のようなものも織り交ぜると若い世代にも受け入れられやすいのではないか。

市：アプリの認知度が低いことについては反省しなければいけないし、様々なイベント等に出展してPRを続けてはいるが、引き続きアプリを広める活動に注力したい。ごみに対する意識が高く、発信力のある委員の皆様にも、それぞれのフィールドでぜひ周知してもらいたい。

委員：地元町会の理事会等で、たくさんの人に勧めてアプリをダウンロードしてもらっている。高齢者が分かりやすいように、一対一で使い方を教えてあげられるような機会があると良い。市にお願いしたいのは、出前講座等の申し込みを待つのではなく、市民部事務所等で市民を出迎えてこちらからアプローチしたりすれば、もっと広まるのではないか。他の委員からも地元のお祭りでのごみの分別の話が先ほどあったが、こういった場でも市の職員が出向いて分別の実演を行う等、伝えることが大事である。

市：出前講座でアプリを紹介しても、ダウンロードの仕方がわからない等、その段階でつまづいてしまう方が多いので、やり方も積極的にお手伝いしている。お祭りごみに関しては、各地域の市民センター祭りに職員が出向いて分別の実演を行っているので、今後も活動を続けていきたい。

委員：このアプリを利用するようになってから、わざわざカレンダーを置いてある場所まで見に行かなくて済むようになったので、本当に便利になった。あとは希望としては、同じ品物でも色々な呼び方があるので、分別する品名にもう少し幅を持たせてくれたら、もっと使いやすくなると思う。

委員：最初の画面にもう少し視覚的な使いやすさがあると良い。メニュー画面が隠れてしまったりするので、せっかく便利な機能がたくさんあっても気づきにくい。レイアウトも難しいかもしれないが、工夫があると良い。

委員：東京都のアプリのように、ダウンロードしたらごみ袋を差しあげるとか、桑都ペイのポイントを付与するといったサービスがあれば、ダウンロード数は一気に伸びると思う。

市：色々なご意見をいただけるのはありがたい。是非委員の皆様には、次回の協議会までに、もっとアプリをご利用いただいて、使い勝手について、ご意見をいただきたい。

## 2 その他

委員：最近、可燃ごみを出しておく、カラスに荒らされることが多くて困っている。ネットを上から被せるくらいでは効果がなくて、ネットをごみ袋に巻き付けるようにして出しているが、これでは収集事業者も回収するのも大変だろうなと思い、何か良い方法があれば教えてほしい。

市：戸建て住宅もあれば、集合住宅もあり、カラスの被害にあう地域もあれば、全く無い地域もあるので、個々に工夫しながら対応いただいている。荒らされて散らかっているごみについては、収集作業員に掃除しながら回収してもらっているが、カラス対策はこれといった決定打が無いのが現状である。良いアイデアがあれば発信していきたいし、個々の相談にもなっている。

### 【令和8年度(2026年度)のごみゼロ社会推進協議会の日程について】

市：令和8年度(2026年度)の協議会の日程調整について、ご協力をお願いします。